

国語科学習指導案

平成29年10月17日

1 単元名 人物紹介コラムを書こう～インタビュー活動を通して～（1年）

2 単元の目標

○魅力ある人物紹介コラムにするため、積極的にインタビュー活動をする。

（国語への関心・意欲・態度）

○人物紹介コラムを書くために必要なことを質問しながら聞き取り、整理すること。

（話すこと聞くこと エ）

○インタビューをするために場面に応じた適切な言葉を選ぶことができる。

（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）

3 評価規準

国語への関心・意欲・態度	話すこと聞くこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
・魅力あるコラムを書くために必要な情報をインタビュー活動を通して積極的に集めている。	・人物紹介コラムを書くための材料を必要に応じて質問をして集め、整理している。 （話すこと聞くことエ）	・インタビューをする際にふさわしい言葉遣いをしている。 （伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）

4 単元について

（1）単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元ではインタビューをもとに人物コラムを書く活動を行う。その中で相手の話をよく聞き、ときにはそれに質問を重ねながらより深く情報を集めて整理する力を養っていく。これらの活動を通して能動的に聞く姿勢を育みたい。

本単元で書く、人物紹介コラムは新聞の人物欄で扱われているような人物に関する記事を想定している。読売新聞であれば「顔」毎日新聞や朝日新聞では「ひと」として取り扱われているもので、コラムを読んでその人の人となり共感したり、興味を持ったりできる記事である。人物紹介コラムを魅力的にするためには、その人物の持つ「物語」を引き出さなくてはならない。その中でインタビュー活動をする必然性がでてくるため、意欲的にインタビューに取り組めると考えた。また、目的があることで質問内容の精選などがしやすく、生徒たちも学級の仲間の新たな一面に触れることができるので、1年生のこの時期にインタビュー活動をして互いに話をしたり、聞いたりする活動を通して生徒自身が力になったと感じられる言語活動にしたい。

また、本校では本年度 NIE を推進している。新聞にふれるという意味でもこの単元でコラム記事を扱うことは効果的である。加えて、事前に新聞記者からインタビューに関する授業

を行い、インタビューのコツやメモのコツを教わり、職業に関してのインタビューをする授業を総合的な学習の時間で行う。これまで、同じ言語活動を連続で行うことがあまりできなかったため、前回の反省や改善点を生かす場面を設定できていなかった。今回は継続的にインタビューを使う場面を作ることで、話すこと聞くことの力を定着させたい。特に、今回のような人物の物語を引き出すインタビューでは質問をして答えを得たものに対してさらに質問を重ね、より深く詳しい情報を得られるようにしたい。形式だけのインタビューにならないよう、事前にいくつも質問や予想される答えや深く話を聞くために有効な「5W1H」を用いた質問を準備しておくことで、その人のもつ物語を引き出せるようにしたい。(前述、ことばの授業内で、記者はこのような質問の仕方を「つつこむ」と表現している)

今回のインタビューは3人一組で行い、インタビューをする立場・受ける立場・見ている立場にわけ、それぞれをやることになる。インタビューをする立場では、コラムを書くために必要な情報を集める。受ける立場では、自分が相手からされた質問にどう返していくかで、自身のした質問がよかったのかどうか考えるきっかけにもなる。見る立場では、インタビューを客観視し、評価する立場を担う。ここでも自身のインタビューを振り返ることになるはずである。立場や目的を持ったインタビューで主体的に聞く力を育てたい。

今回の目標はあくまでも「話すこと聞くこと」にあるため、コラム記事を書くことに負担をかけないように、自分の力量に合わせたヒントカードを用意し、情報を整理しやすくする。書くことに抵抗をなくすことで、インタビュー活動の充実につなげていきたい。

(2) 単元で身に付けさせたい力

本単元では、インタビュー活動を通して必要に応じて質問をしながら聞き取り、整理する力を身に付けさせたい。インタビューする立場と受ける立場の双方を経験することによって、より有効な話し方や聞き方の工夫ができるようにする。さらに、インタビューを見る立場も経験することで客観的にインタビュー活動をとらえ、有効な質問の方法などに気づかせたい。

また、人物紹介コラムを書く際には質問を重ね、相手から経験談などを引き出し、それらの情報を整理することが必要になる。

今後は話し合い活動などに能動的に話す姿勢をいかしていきたい。

(3) (1) と (2) の基盤となる言語環境や継続的な取組

本単元に至るまでに、前期では音読を題材として人前で話すときの言語技術を確認し、スピーチを行った。「尊敬する(目標とする)人物について」というテーマでスピーチ原稿の構成や相手意識、ユーモアなど工夫して活動することができた。また、スピーチに関しては朝の会や社会科の授業において定期的に行っていることもあり「話す力」については表現する場を多く設けている。9月には国語科と総合の職場体験との連携の授業を行い、インタビューのプロの一人である新聞記者による「ことばの授業」(NPO 法人企業教育研究会・読売新聞)で、インタビューの基礎を学び、職業に関するインタビューを行う。この経験を生かし、継続的に2回以上同じ言語活動を繰り返す中で前回の反省を生かし、さらに力を高めたい。

6 単元の指導計画（全3時間）

時	学習活動	指導や支援の手立て ◇評価
0	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が現在頑張っていることについて考え、ワークシートに記入しておく。 (インタビューを受ける側の準備) ・お互いの頑張っていることについて知っておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動について事前に知らせ、活動にスムーズに入っていけるようにする。 ・お互いの頑張っていることがわかるように掲示する。
1	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞くことの大切さ、必要性について考える。 ・学習の見通しを立て、インタビュー活動をしてコラム記事を書くことを確認する。 ・インタビューの例とコラムの例を見て、活動のイメージを持つ。 ・情報を集めるために有効な質問を考えワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手が話をしやすい聞き方はどのようなものかを確認する。 ・大型テレビにコラム記事を映しながら説明・確認をする。 ・今回の活動は「聞く力」をつける活動だということを意識させる。(書くために必要な情報を集める) ・事前に撮影した動画とそれを基にしたコラム記事を作っておく。 ・自分が話したい情報を聞き出すための質問を考えることで有効な質問を考えさせる。 <p>◇必要な情報を集めるための質問を考えられている。(話す聞く)</p>
2 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー活動をするためのワークシートを確認する。 ・インタビューのコツ・メモのコツを確認する。 ・インタビューをして必要な情報を集める。 ・インタビューした内容をコラムにできるよう整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントでコツを提示し、前回のインタビューの授業を振り返らせる。 <p>◇意欲的にインタビュー活動に取り組んでいる。(関心意欲)</p> <p>◇コラムを書くのに必要な質問をしている。(話す聞く)</p> <p>◇インタビューにふさわしい言葉遣いができている。(伝国)</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューした内容をもとにコラム記事の形にまとめる。 ・できた記事を本人と確認する。 ・グループでできた記事を読みあい、感想をふせんに書いて貼る。 ・自己評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことへの抵抗感を少なくするため、3種類のワークシート（書く分量がそれぞれ違うもの）を用意し、自分に合ったものを使うようにする。 ・時間内に終わらない生徒はできたところまでを確認するようにする。 <p>◇必要な情報を整理して、コラムを書くことができる。(話す聞く)</p> <p>◇自分についての力を振り返って確認している。(関心意欲)</p>

7 本時の目標と展開

(1) 本時の目標

- ・インタビューを意欲的に行い、自分の考えを話したり聞いたりすることができる。
(国語への関心・意欲・態度)
- ・コラム記事を書くために必要な情報をインタビューで聞き取り整理することができる。
(話すこと聞くこと)

(2) 本時の学習活動

インタビューのコツやメモを取るコツを確認し、コラムを書くために必要な情報を集めるためのインタビューを行う。インタビューをする側、受ける側の両方の立場を経験することで、より有効な話し方や聞き方の工夫ができるようにする。

(3) 本時の展開

時配	学習活動	指導や支援の手立て ◇評価
5	○本時の活動の見通しをもつ。	○本時の目標を板書する。
	インタビューでコラム記事を書くために必要な情報を集めよう！	
10	○インタビューのコツを確認する。 1 相手が話しやすいようにする 2 みんなが興味を持ちそうなことを見つける 3 つっこむ	○ワークシートの記入が終わっているか確認する。 ○ことばの授業を振り返り、確認したものを板書する。
20	○メモのコツを確認する 1 ひらがなやカタカナを使う 2 記号や省略を用いる 3 自分が読める字で書く ○インタビューをする	○机間指導をしながらなかなか質問ができていない生徒に対して助言をする。 →きっかけは？いつ？どこ？誰と？なぜ？ これからは？楽しいことは？大変なことは？ ◇コラムを書くために必要な情報を集める質問をしている。(話す聞く)
	<ul style="list-style-type: none"> ・2～3人組 5～7分 ・「頑張っていること」について ・1対1のインタビュー ・メモを取りながらインタビューする ・もう1人はインタビューを見る ・見る人はインタビュー評価シートに記入しながら見る。 	【ワークシート・観察】 ◇インタビューのコツやメモのコツを生かしながらインタビューしている。(関心意欲態度)
15	○メモをもとに記事にすることを整理する。	◇インタビューにふさわしい言葉遣いをしている。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)
		【観察】

最近頑張ったこと！頑張っていること！

★最近頑張ったこと、頑張っていることはなんですか???

名前 _____

最近頑張ったこと！頑張っていること！

★最近頑張ったこと、頑張っていることはなんですか???

名前 _____

最近頑張ったこと！頑張っていること！

★最近頑張ったこと、頑張っていることはなんですか???

名前 _____

★インタビュー評価シート

1 ほかに人のインタビューを見て

さんのインタビューについて

4…よくできていた 3…できていた
2…あまりできていなかった 1…できていなかった

- (1) あいさつやあいづちがきちんとできていた。()
- (2) メモを取りながら話をきくことができていた。()
- (3) つっこむ質問ができていた。()

→どんな質問があったかわかる範囲で書き出してみよう。

2 自分のインタビューを振り返って

よかった点	改善点	次に生かしたい点

名前 ()

★プロフィールカード

○頑張ったこと・頑張っていること

○きっかけ

○どのように頑張っているのか

・

・

・

・

・

○目標・夢

名前（ ）

コラム ヒントカード

★構成 現在→過去→未来 の順番で書く。

現在 今その人が何をがんばっていてどのような状態なのか

～な〇〇さん。そんな〇〇さんは◇◇を頑張っている。
現在、◇◇では～～～（現在の状況やその活動の様子など）。

過去 きっかけ、今日にいたるまでの苦労など

◇◇をはじめた（頑張ろうと思った）きっかけは～～だ。

未来 これからの夢や目標

これからは～～～な目標に向けて努力を続けていく。そのためにも～～。

最後に 自分の考えなどをいれよう！

〇〇さんの～～な姿勢に感動させられた。〇〇さんの◇◇でのますますの活躍を期待したい。

★常体で簡潔に。

～だ。～である。～だろう。→新聞記事を参考にしよう！

★一文を短くする。

★「 」でそのままのセリフをいれる。

例「今まで以上に力をいれてやっていきたい」と力強い言葉。
「これまでの経験を生かしたい」と熱く語る。